

伊達松風

題字 松浦常雄

第 73 号

令和6年9月7日

発行者
福島県公立学校
退職校長会伊達支部会長
古 宮 睦 男

巻頭言



伊達支部会長
古宮睦男

以前、六年生の国語の教科書に新美南吉の「おじいさんのランプ」という作品が掲載されていました。古いものから新しいものへ、勇気を持って転換する大切さを主題とした作品だったと記憶しています。スマホが古くなり、買い替えようと思いい店に行きました。機種の変更は所要時間三分、その後の手続きの時間の長いこと、結局二時間以上かかってしまいました。原因の大部分は私、説明される用語が理解できない、それを詳しく説明されてもよく分からない、新しい機能等に興味を示さず理解しようとしないう姿勢が時間を費やす理由でした。

人間は未知のことに関心を持ち、行動を起こすことで進歩してきた動物であることを考えると、私もそろそろ人間に戻らなければと強

く考える昨今です。

さて、昨年度は会発足以来初めての新人会員該当者無しという異例の事態でしたが、今年度は四名の新人会員を迎えることができました。仲間が増えることは大変嬉しいことで、会の発展に寄与していただけると大いに期待しています。

今年度の総会は昨年に引き続き紙面総会ではなく、通常の開催で無事終了しました。バーチャルでなく、顔と顔を突き合わせてお互いの近況報告をするのはとても楽しく有意義な時間でした。予算不足等の課題はありますが、みんなの力で乗り越えていけると確信しています。

長年会員の楽しみだった旅行クラブが諸事情により活動を取りや



めることとなりました。八島クラブ長には大変お世話になり、感謝申し上げます。クラブ活動を盛んにすることも会の活性化に繋がります。新たなクラブの発足を期待しています。

県大会の報告

創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会が、六月十二日(水)二本松御苑を会場に約二百二十名の参加のもと開催されました。

県北地区の開催でもあり、古宮支部会長をはじめ約二十名の支部会員が出席し、講演や体験発表等を興味深く聞き入っていました。

大会は、福士寛樹樹会長と伊藤末吉実行委員長のあいさつから始まり、その後、二本松が生んだ日本画家の大山忠作の娘である女優の大山采子氏の講演がありました。副題の「父、大山忠作とわたし」の通り娘から見た絵に懸ける父の姿や生き様を話していた中で、弟の部屋が火事になった時、はなれで寝ていた忠作氏が消火が済んだ頃に起きてきて、息子の無事を確認したらまたすぐに寢床に戻ったことを話していました。家や財産よりも家族の命が大事だったのでしよう。忠作氏が描いていた「美

というものがおぼろげにわかったような気がしました。

昼食後は三名の体験発表がありました。石川支部の小針良仁様の「石川町歴史民俗資料館移転オープンにあたっての活動」、耶麻支部の神田優子様の「喜多方市の人づくりの指針作成への関わり」、いわき支部の矢内金五様の勿来関文学歴史館で行った「富士山の見える阿武隈の山々を訪ねて」などの発表を拝聴しました。県内の会員の皆様方が様々な形で社会に貢献し、ご活躍されていることを知る良い機会となりました。

開催地区の順番通りなら五年後には本支部で県大会を開催することになります。会場や講演者、大会組織や経費等の課題が山積していますが、支部会員の皆様のご理解とご協力を賜り、出席される県内各地の会員の皆様方のお役に立てるような伊達大会が開催できればと願っています。

(広報委員
蓬田 吉穂)



新会員の声

近況報告



〔桑折方部〕熊坂 吉徳

今年度の四月から定年前再任用短時間勤務で川俣町立山木屋中学校に勤務しています。

自然豊かな地域の中で、生徒と共に英語の授業に楽しく取り組んでいます。中学校の英語の授業を行うのは久しぶりで不安もありましたが、子どもたちの学力向上のためにがんばっています。

伊達地区の諸先輩及び校長先生方には、学校運営や様々な場面でご指導・ご協力いただき本当に大世話になりました。どうぞこれからもご指導いただきますようよろしくお願いたします。



名入りマグカップ

〔保原方部〕佐々木 透

昨年度末、退職を迎える私のもとへ、保護者になった教え子が訪ねてきてくれました。手ぶらで来ればいいのに、花や色紙やマグカップなどをいただき、校長室に飾った。毎日大切に使用しています。定年を迎えてこれからどんな楽しい生活が待っているのか？期待半分不安半分でしたが、新たな特例任用の制度により、母校でもあ

る保原小学校三年目になりました。間近に迫る夏休みは、気分一新温泉巡りか、のんびり新幹線の旅にでも出てみようかな……と、策略？いやいや計画立案中の学期末です。



六十歳普通退職!

〔保原方部〕熊澤 正人

定年延長により六十歳での退職は「普通退職」扱いとなりました。役職定年のため教諭としての勤務もありましたが、伊達市教育委員会にてお世話になっております。管理職を離れ与えられた仕事を一生懸命やっていたらよいという状況を楽しんでいます。若い頃に戻ったようです。また、定時退勤が有難く自分の時間が増え朝晩の食事の準備が楽にできます。退職校長会伊達支部に迎えていただき感謝です。人生百年時代に向けて諸先輩方のご指導を賜りますようよろしくお願いたします。



花に癒やされる毎日

〔桑折方部〕遠藤 和宏

私は役職定年制を機に、定年前に退職しました。現在、桑折町教育委員会でお世話になっておりますが、これまでと仕事内容が大きく変わり、目の前に子どもがいない環境にも戸惑っています。なんだかなだ言っても現場は最高です。

一度引退した身なので、今後は健康最優先で、無理せずマイペースで仕事をしていきたいです。数少ない趣味の一つ、旅行になかなか行けないスケジュールではありますが、「花の栽培」には熱が入っています。庭いっぱい咲く花々に、毎日癒やされています。



クラブだより

囲碁クラブ 定例会

〔囲碁クラブ〕荒 哲也

去る、六月二十七日(木) 保原中央公民館で例会を開催しました。本会も年々、会員数が減少の一途をたどっています。



記録を見ますと、かつては六十余名を数え、旅館を会場にしたり、現職の国会議員が大会参加者に名を連ねていたこともありましたが、のどかで古きよき時代の姿を感じます。趣の世界にも時代の移ろいが反映するのも自然な姿なのでしょう。さて、今回は四名の参加者でした。囲碁は一局の中身で勝負でき

ますので、それが楽しみになり、人数はあまり関係しません。会員が最小ふたり以上であれば会は成立します。それまで存続させようと、会員一同確認しあいました。

五七五クラブ

俳句

園児たち唄い見つめるアマリリス

〔国見方部〕中村 洋平

咲き誇るカンナの花に胸躍る

〔霊山方部〕丹治 睦雄

花さびた残る一戸になるもよし

〔梁川方部〕津村 栄

川柳

孫はげむ霊山太鼓集う夏

〔霊山方部〕丹治 睦雄

財布には効いて効かない吾がサプリ

〔国見方部〕中村 洋平

この町の日本一はこの暑さ

〔梁川方部〕津村 栄

短歌

十校に勤めたけれど今も尚

残る学校わずか四校

〔国見方部〕中村 洋平

梅雨ごもりして思い出を紡ぎ合

半世紀ほど一気に旅す

〔梁川方部〕津村 栄

10年目の近況

今日がいちばん新しい日

【保原方部】清野 茂徳



七十歳を迎える前に心臓の具合が悪くなり、緊急で入院手術をしました。幸い、手術は成功し、術後三ヶ月が経ち、七十歳を迎えると、やっと調子が戻り、普通の生活ができるようになりました。今、退職し十年目を迎えました。が、あらためて健康の大切さを実感しています。

そんな中、日野原重明先生の本「いくつになっても、今日がいちばん新しい日」を読んで、先生が本の中で「私たちに残された有限の生涯をいかに生きるか、考えてみませんか」の問いに、真剣に向き合い考える日々が続いています。自分の答えは、過去にとらわれず、今日一日を精一杯過ごし、自分にとって、「今日がいちばん新しい日」になることだと思います。

途中棄権はまだ早い

【国見方部】佐藤 幸英

定年退職後に「くにみ幼稚園」で四年間、国見町役場で四年間お世話になりました。昨年「無職」となりました。おかげさまで

普通に過ごしていますが、一番の心配事は「首下がり病」の治療です。現在は週三回、整形外科に通院しています。マッサージやストレッチ、筋トレなどを中心にしたリハビリを行っています。

思い起こせばラッキーにも東京マラソンの抽選が当たり出場した時のことです。当時の写真を見ると私の首がおかしいのがわかります。また、私は二十七キロの関門を制限時間内に通過できず回収バスに乗せられました。ちなみに、大迫選手も二十七キロ地点で自分から走るのを止めました（低体温症）。同じ二十七キロ地点でも大きな違いのある地点となりました。私の人生途中棄権はまだ早いです。「首下がり病」の現実を受け止め、できる限り頑張りたいと思っています。



平凡こそ、幸せ

【保原方部】佐藤 義仁



教職を退いてから七年間、伊達市教育委員会社会教育に携わらせて頂き、晴れて『自由人』と

なつて今年で三年目を迎えました。当初、職場から離れることでの不安や孤独という負の思いがあったものの、いざスタートしてみるとそれは杞憂に終わりました。現在は、四年前に教職を退いた家内と共に毎日をのんびりと過ごしております。

在り来たりですが、『平凡こそ、幸せ』をモットーに、旅行や読書を始めとし、愛車いじり、ジョギング、日本史の再学習、書、そして適度な飲み歩き等々と、毎日時間が足りないと感じるほど動き回っております。

今では目まぐるしく変化する教育現場やデジタル社会について行けなくなってしまうが、これからも身体が動く限り自由気ままに動き回りと思っています。

現役の頃とは違い、最近身体は各パーツにガタを感じるようになりましたが、「早期発見、早期修理？」に努めながら日々楽しんでいきたいと考えております。

ようやく第二の人生

【保原方部】会田 智康

三月末に桑折町教育長を退任しました。在任中は退職校長会伊達支部の皆様には大変お世話になりましたことに感謝申し上げます。五月末、テレビを見ていて、あ

づま球場で楽天対ヤクルトの交流戦が翌日開催されることを知り、すぐにネットでチケットと送迎バスを予約。当日もビールを飲みながら、時間を気にせず最後まで観戦していたら、何と九回裏に代打スリーランホームランが出て楽天が劇的な逆転サヨナラ勝利。仕事優先の時期には、なかなか経験できなかったような出来事でした。直木賞作家西條奈加さんの「隠居すごろく」に描かれているように、第二の人生をしっかりと受け止め、自分らしく取り組んでいきたいと思っています。



【訃報】

お悔やみ申し上げます

小河 徹也 様 (九十五歳)

令和六年三月二十二日逝去

坂内 明生 様 (七十五歳)

令和六年五月十八日逝去

八巻 英夫 様 (七十七歳)

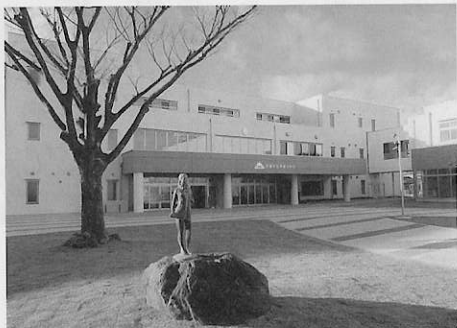
令和六年六月十日逝去

学校現場から

新校舎と共に
新たなスタート

伊達市立伊達小学校長
伊藤 栄

伊達小学校の歴史を紐解くと、明治五年九月十五日に、現在の国道四号線近くの金秀寺に「由学塾」を創設したことをもって学校の創立と見なしているようです。この年を起源とすると、今年には百五十三年目を迎えます。現在の校舎は、歴史と伝統と校風を反映し、最良の学校づくりが実現できていることを基本構想とし、平成二十八年から検討委員会を立ち上げ、昨年十二月について完成し、本年一月より使用が開始されたばかりの新校舎です。木をふんだんに活用した校舎は温かみがあり、ワークスペースとして活用できる広い廊下や様々な集会を催すことができる音響設備の整った立派な講堂などが、特徴的です。今年度は、新たな校舎と共に、新たなスタートを切る年でもあります。伊達小学校にはもともと挨拶に関するスローガンとして「先大見笑」という言葉があります。「先」は先に、「大」は大きく、「見」は目を見て、「笑」は笑顔で挨拶をするということなのです。この言葉を単なるスローガンで終わらせず、モットーとして全校生で取り組んでいます。最近では、地域の方から認めていただけるようになってきています。また、本校玄関前に大きく繁るけやきの木は、学校のシンボルとなっていますが、今年度は、PTAや地域と連携し、新たに桜の木をはじめ、樹木を植樹し、地域と共に、新生伊達小を盛り上げていく予定です。今後とも伝統を重んじながら、新たな創造を目指して参ります。



玄関前に繁るけやき



講堂でのリコーダー講習会



事務局より

退職校長会伊達支部会は四名の新人会員を迎え、総会員百十三名で令和六年度をスタートしました。支部役員は表の通りです。今年度も古宮支部会長を中心に「今できる取組」を推進して参りますので、会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和6年度 退職校長会伊達支部会 役員一覧

理事	県評議員	クラブ	広報委員			幹事			方部委員					監事	副会長	会長	顧問	役職										
			田基	俳句	委員	委員	委員	副委員長	委員長	会計	庶務	庶務	月山						霊山	保原	梁川	国見	伊達	桑折				
穴戸弘治	渡邊勝則	蓬田吉穂	古宮陸男	荒村哲也	津村良典	高見良典	佐々木誠一郎	岡崎秀一	亀岡和美	蓬田吉穂	鈴木喜三郎	阿部雅好	高橋孝	矢野実也	中野茂徳	清野茂徳	原田徳好	渡邊勝則	穴戸正幸	三村隆二	佐藤忠夫	齋藤徹雄	穴戸弘治	蓬田吉穂	渡邊勝則	古宮陸男	石岡恒憲	大槻太

務めを無事終えて

丹治 陸雄

この度、七年間務めた支部広報「伊達の松風」の編集長を退任することになりました。私以外に浅野テル子さん、齋藤徹雄さんも退任いたします。七年間に渡り編集の仕事に携わらせていただきましたが、その間会員間の交流に役立っていたと少しでも感じただければ幸甚に思います。コロナ禍が世界中を席巻し、あらゆる活動に自粛と制限がかかっていた時期がありました。こういう時こそ紙面による我々の広報活動の存在理由があるという古宮支部会長の熱いご指導にどれだけ励まされたか解りません。

最後に「伊達の松風」の発刊には梁川の阪内印刷さんに大変お世話になりました。こちらの無理な要望を真摯に聞いていただき、見やすいレイアウト、楽しいイラストの数々に改めて感謝申し上げます。

あとがき

新メンバーでの初めての編集作業を通して、改めて退任なされた三名の方の素晴らしさを思い知らされるとともに身の引き締まる思いです。

これまでと同様に会員の皆様に親しんでいただける紙面作りに取り組んでいきたいと思えます。

(Y・Y)